



江津中学校 学校だより

2025年12月4日号

「百歌唄蘭」

校長 大地本央仁

～たくさんの歌が咲き誇るように～

10月31日（金）江津市民総合センター（ミルキーウエイホール）を会場として開催しました。今年度のテーマは、「百歌唄蘭」です。それぞれのクラスの発表は、まさに、たくさんの歌が咲き誇るように、皆さん一人ひとりの声が美しく響き合う歌声でした。

閉会行事での金山特別審査員様の講評にもありました。毎年度それぞれの学年においてのレベルが高く審査に大変時間がかかりました。甲乙つけがたい合唱の中、グランプリは、3年2組の受賞となりました。講評では、学年を問わず、高い技術力であるとお褒めの言葉をいただきました。また、ここまで成績を発揮するためには、熱心に練習した生徒の皆さんをはじめ、それを促し支えた演奏委員や指揮者、1学期末から練習したピアノ伴奏者、そして、各パートのリーダーの皆さんの尽力の大きさにも触れていただきました。本当にご苦労様でした。



開会式の時には、生徒の皆さんに向けて2つのメッセージを送りました。紙面を借りて紹介いたします。

昨年お亡くなりになりましたが、世界のオザワと称される指揮者の小澤征爾さんは、「音楽は人と人とのつなぐ最高の手段」と語っています。今日のステージは、クラスの仲間と心を通わせるだけでなく、聴いている人の心にも届く、そんな時間になるはずです。

また、東進ハイスクール講師であり、「ぽつんと一軒家」などメディアでもご活躍の林修先生は、「努力は裏切らないっていう言葉は不正確だ。正しい場所で、正しい方向で、十分な量なされた努力。これは裏切らないという言い方が正しい。」とおっしゃっています。



このことは、合唱にとどまらず、皆さんがこれから何かを成し遂げようとする事すべてに通ずるものですが、皆さんに今まで積み重ねてきた努力は、まさに「正しい場所=このステージ」で、「正しい方向=仲間と心を合わせること」に向かって、「十分な量」行われてきたはずです。だからこそ、今日の歌声には、皆さんの本気が詰まっている、歌に深みを与えていたいのだと思います。

どうか、仲間と一緒に育ててきた「歌の花」を、思いきり咲かせてください。

学校保健委員会を開催しました。

11月5日（水）に学校保健委員会を開催しました。

講師としていわみ眼科クリニックの院長である原 克典先生をお招きし、「メディア利用と目の健康について考えよう」というテーマでご講演いただきました。



原先生からのご指摘のとおり、「自分の体の責任者」としてできるだけ体に負担がかからないように「過剰な使用は控える」、「リスクがあることを理解して使用する」と



ということを意識して、今後もメディアと上手に付き合っていってほしいと思います。

講演の前には、保健委員会の3年生より、「江津生のメディア利用と目の健康に関する課題」について発表がありました。江津生の視力とメディアに関する課題について、事前にしっかりと調査したデータをグラフ等を使って、わかりやすく伝えていました。